

令和6年度交通安全功労者表彰（交通対策本部長表彰） 表彰者功績概要

受賞者名（個人・団体・市区町村）		功績等
青森県	イズミヤ カズヒロ 泉谷 一博	昭和54年から交通指導隊員として蓬田村や外ヶ浜町の交通安全推進活動に尽力しており、通学・通勤路での街頭指導や児童や高齢者に対する交通安全指導を始めとして、住民等に交通事故防止を呼びかけるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。
岩手県	ミウラ トクヤ 三浦 得也	昭和46年6月から釜石地区交通安全協会大槌支会の理事に就任し、多年にわたり、交通安全活動に積極的に取り組み、地域の交通事故防止に多大な貢献をしてきた。 また、釜石地区交通安全協会大槌支会の副会長に就任後は、協会の健全な業務運営と事業の円滑化を図り、関係機関・団体と連携しながら大槌町全域の交通事故防止、交通安全意識の高揚などの交通安全活動をさらに推進した。
宮城県	タカノ サダヨシ 高野 貞美	昭和38年に石巻地区交通安全協会の会員となり、以来平成30年まで石巻地区交通安全協会の役員を務めたほか、平成21年には地域交通安全活動推進委員に委嘱され、これまで60年の永きにわたり地域住民の交通安全思想の普及・高揚に精励している。 平成23年の東日本大震災により石巻市は甚大な津波被害を受け、道路交通環境が変化する中、いち早く交通安全活動を再開させ、被災地の交通秩序の回復に尽力した。 令和3年には自宅が火災に見舞われ重傷を負い、長期間の入院を余儀なくされたが、交通安全活動に対する熱意を失うことなく、度重なる困難を乗り越えて、現在も先頭に立って住民等に交通事故防止の呼びかけを行っている。
山形県	ゴトウ シュンイチ 後藤 俊一	平成2年4月から東根市の交通指導員として、小中学児童・生徒の朝の通学路における交通安全確保のため、立哨及び街頭指導に努めるとともに、各種交通安全教室、交通安全パトロール及び市の交通安全対策等の各種行事に積極的に参加をし、交通事故防止、交通秩序の保持に努めている。 さらに、日常の仕事を通し、小中学生や高齢者等の自転車、自動二輪車利用者への安全点検や正しい乗り方の指導など日ごろから交通安全意識の啓発・交通事故防止に多大な貢献を行っている。 また、地域においても信頼が厚く、地区の主任児童委員を務めた経験もあり、地域の要として社会福祉の推進、児童福祉に尽力した功績は大きい。
福島県	タカハシ マサミ 高橋 正美	昭和51年からいわき市の交通指導員（昭和61年から交通教育専門員と改称）として地域の交通安全行事に従事し、毎日の通学路での街頭指導や児童・生徒、高齢者に対する交通安全指導を始めとして、住民等に交通事故防止を呼びかけるなど、いわき市内の交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に大きく貢献している。 また、令和5年から福島県交通教育専門員連絡協議会の副会長として会長を補佐し、総会や研修会の円滑な運営に貢献することで、県内専門員における意識高揚及び安全思想の普及に重要な職責を継続して担ってきた。
埼玉県	サイトウ ケイコ 齊藤 恵子	昭和57年4月から坂戸市交通安全母の会の役員として活動に携わり、昭和61年6月から副会長、平成元年6月から会長として、約40年の長きにわたりいずれの事業においても常に先頭に立って行動し、際立ったリーダーシップを発揮しており、令和3年6月からは埼玉県交通安全母の会連合会会長としても交通安全思想の高揚のために尽力している。

令和6年度交通安全功労者表彰（交通対策本部長表彰） 表彰者功績概要

受賞者名（個人・団体・市区町村）		功績等
神奈川県	コウシ ミツノリ 合志 光紀	昭和37年から緑交通安全協会役員として地域の交通安全推進に尽力している。通学・通園路での街頭指導を始め、児童・高齢者に対する交通安全指導、地域住民に交通事故防止を呼びかけるなど、地域における交通事故防止および交通安全思想の普及、高揚に多大な貢献をしている。
富山県	ニシカワ ヤスオ 西川 康夫	昭和40年から小矢部市交通安全協会若林支部員、平成10年から同支部長として、各季の交通安全運動等において、約45年間の長きにわたり、交通街頭活動等に従事した。さらに、平成22年に小矢部市交通安全協会会長や小矢部市交通安全対策協議会評議員に就任してからは、関係機関・団体と連携し、各種行事や交通安全教室、シルバードライビング教室等の開催を推進し、後進の育成に努めるなど交通事故防止及び交通安全思想の普及、高揚に多大な貢献をした。
石川県	マエカワ コウタロウ 前川 幸太郎	平成3年度から小松市交通安全協会連合会員となり、令和元年度からは支部長を務め、協会の発展及び交通事故撲滅を目指し尽力しており、その功績は顕著である。 さらに氏は、昭和53年から小松市防犯交通推進隊連合会東陵地区隊に入隊し、昭和57年からは同地区隊長として地域の防犯活動や交通安全運動に取り組んでおりその功績も顕著である。
山梨県	イノウエ ミツル 井上 満	昭和55年から都留交通安全協会下谷支部に在籍し、平成5年の支部長就任以降は、自身で作成した地区内事故発生箇所マップ等を活用した高齢者・大学生・小学生対象の交通安全教室開催や高齢者宅訪問等を精力的に実施するなど、長年にわたり継続的に交通事故防止啓発活動を実施している。 都留市交通安全連合会会長としても強いリーダーシップを発揮し、令和4年に会長職を後進に譲ってからも筆頭副会長として良き相談役、頼れる会長代理として皆に安心感を与えているなど、都留市の交通安全対策に多大な貢献をしている。
静岡県	スギヤマ アキオ 杉山 章夫	昭和58年より現在まで41年間の間、御殿場市交通指導員として地域の交通安全に貢献している。交通指導員会の会長等歴任し、令和6年度から会の顧問として交通指導員の指導あたっている。週3回の早朝街頭指導をはじめ、地区の行事や小学校の自転車教室にも交通指導員として助言や指導を行い、長年にわたり御殿場市の交通安全思想の普及・啓発に尽力している。
三重県	ニシカワ テルコ 西川 てる子	昭和58年から亀山地区交通安全協会の地区委員として、通学・通勤路での街頭指導、児童・高齢者に対する交通安全教室、高齢者宅への戸別訪問による交通安全指導及び各種イベント等での啓発活動を通じて地域住民に交通事故防止を呼びかけるなど献身的に尽力し、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。
京都府	セト ヒロタカ 瀬戸 博孝	昭和56年に熊野郡二輪車普及協会会長に就任以降、熊野郡交通安全協会、久美浜地域交通安全活動推進委員協議会の会長を歴任し、約42年の長きにわたり交通安全活動に携わるとともに、6町の市長村合併を契機とした平成17年の中郡・竹野郡・熊野郡交通安全協会の合併に尽力された。以降、京丹後交通安全協会会長として、令和6年現在まで10期20年にわたり全役員及び会員の先頭に立ち、各種交通安全啓発活動を実施するほか、交通事故多発路線やゾーン30内に横断幕や啓発看板の設置、毎日の小学校登下校時の見守り活動を実施するなど、率先して会員の先頭に立つことで、交通事故減少の一環を担うなど、交通事故防止及び交通安全意識の向上に向けて、多大な貢献をしている。

令和6年度交通安全功労者表彰（交通対策本部長表彰） 表彰者功績概要

受賞者名（個人・団体・市区町村）		功績等
和歌山県	スギウラ マサヒデ 杉浦 正英	昭和52年に旧日置川町交通指導員に委嘱されてから現在に至るまで、通学路での街頭指導活動をはじめ、交通安全運動期間中の街頭啓発活動や幼稚園・小学校等で実施される交通安全教室、各種イベントの交通誘導活動に率先して出動するなど、白浜町内の交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚等の交通安全活動に大きく貢献している。 また、旧日置川町交通指導員会会長、白浜町交通指導員会副会長、白浜町交通指導員会会長、田辺周辺交通指導員会連絡協議会会長、和歌山県交通指導員会連絡協議会常任理事、和歌山県交通安全協会白浜支部副支部長を歴任し、自身の活動のみならず、各団体の人材発掘や後進の育成指導に積極的に取り組むなど各団体の資質向上にも寄与している。
岡山県	サカモト ヒロコ 坂本 宏子	昭和59年、「交通安全は家庭から」を理念とする交通安全母の会吉備学区会長に就任し、通学路における毎朝の交通誘導、交通安全運動期間中の各種街頭啓発活動への積極的参加を始め、吉備学区交通安全対策協議会会長として、学区内の危険個所の点検上申、薄暮・夜間時間帯の自転車の無灯火禁止、自転車・歩行者の安全指導等、永年にわたり地域に根ざして幅広い年齢層に対する交通安全意識の高揚に尽力し、現在も精力的に交通安全思想の普及、向上に多大な貢献をしており、その功績は顕著であり他の模範となっている。
山口県	ヤマオカ キクヨシ 山岡 喜久吉	昭和57年から下松交通安全協会代議員、その後、理事、常任理事（久保支部長）、副会長を経て、平成27年6月に会長に就任し、下松交通安全協会の役員として長期にわたり、運営に参画するとともに各種キャンペーンには積極的に参加するほか、地域見守り隊、防犯パトロール隊としても久保小学校児童の登下校時に街頭立哨を行うなど、地域のリーダーとしての活動は他の模範となり交通安全意識の高揚と交通事故防止に多大な貢献をしている。
香川県	タカギ ヒカル 高木 光	平成6年から三豊市（旧詫間町）の交通指導員として地域の交通安全行事に従事し、通学・通勤路での街頭指導や児童や高齢者に対する交通安全指導をはじめとして、住民等に交通事故防止を呼びかけるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。
佐賀県	コガ ヨシハル 古賀 義治	昭和46年4月に神崎市（旧神埼町）の交通指導員に任命されて以来、46年の長きにわたり、朝夕地区の通学路で児童、生徒に対し街頭指導を行い、地域の祭事、陸上競技会での交通誘導など多岐に渡る業務をされてきた。交通指導員の隊長に就任後も指導員全体を牽引してきた。 交通指導員と並行し、交通安全協会においても重要な役職を歴任し、地域の交通安全推進のため献身的に尽力している。
熊本県	カワノ トシヒロ 川野 壽洋	昭和48年から阿蘇郡一の宮町の交通指導員として地域の交通安全活動に従事し、市町村合併後の現在も阿蘇市交通指導員として通学・通勤路での街頭指導や児童や高齢者に対する交通安全指導を始めとして、住民等に交通事故防止を呼びかけるなど、50年の長きにわたり地域住民の交通事故防止及び交通安全の普及・高揚に多大な貢献をしている。
大分県	ヤガワ ススム 矢川 進	昭和62年6月交通指導員として地域の交通安全行事に従事し、令和4年3月まで交通安全指導隊の副隊長であった。通学・通勤路での街頭指導や児童や高齢者に対する交通安全指導を始めとして、住民等に交通事故防止を呼びかけるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。

令和6年度交通安全功労者表彰（交通対策本部長表彰） 表彰者功績概要

受賞者名（個人・団体・市区町村）		功績等
福島県	シモゴウマチコウツウアンゼンハハノカイ 下郷町交通安全母の会	昭和49年の結成以降、今日まで地元警察や町内小学校及び関係機関・団体と密接な連携を図りながら、地域の実情に即した交通安全活動に積極的に取り組み、組織ぐるみの交通安全対策を推進してきた。町内の児童の母親が中心の団体であり、通学時の見守りをはじめ、「交通安全は家庭から」のスローガンのとおり、家庭内での交通安全の教育を行っている。
富山県	シモゼキコウカコウツウアンゼンハハノカイ 下関校下交通安全母の会	昭和51年に高岡市立下関小学校区で結成され、「下関地区では絶対に悲惨な交通死亡事故を起こさせない」という強い熱意と行動力により、地域の実情に即した交通安全活動に積極的に取り組み、児童や高齢者はもとより、地元住民からも大きな信頼が寄せられている。子どもと高齢者の交通事故防止対策の推進、高齢者ふれあい訪問活動、教室の推進等の積極的な啓蒙活動などの効果により、地区内での交通人身事故件数をピーク時から5分の1に減少させるなど、目に見えた効果を上げている。
滋賀県	リットウコウツウアンゼンパトロールタイ 栗東交通安全パトロール隊	昭和55年に結成されて以降、栗東市や地元警察署、交通対策協議会等の交通関係機関・団体と連携を図りつつ幼稚園や老人クラブからの要請に応え、工夫を凝らした交通安全教室を開催して、子どもや高齢者の交通事故防止に貢献している。また、年間計画にもとづき街頭での交通安全啓発活動を実施し、地域住民の交通安全意識の普及・高揚に努め、これらの活動により市内の交通事故を着実に減少させている。
京都府	ウキョウク コウツウアンゼンスイシンカイ 右京区交通安全推進会 レンゴウカイジン ブ 連合会婦人部	「交通安全は家庭から」を合言葉に、地元警察や自治会及び関係機関・団体と密接な連携を図りながら、地域の実情に即し、こどもから高齢者まで幅広い年齢層に対する交通安全啓発活動に積極的に取り組むなど、交通安全対策を推進してきた。結成当初は、関係機関とともに「交通安全教育の実施について」熱心に研修を重ね、現在では創意工夫を凝らした団体独自の交通安全啓発活動を展開している。

令和6年度交通安全功労者表彰（交通対策本部長表彰） 表彰者功績概要

受賞者名（個人・団体・市区町村）		功績等
宮城県	タガジョウシ 多賀城市	平成17年5月22日早朝、市内の国道45号において、学校行事のウォークラリー中であった高校生の列に飲酒運転の車両が衝突し、3名の尊い命が奪われる交通事故が発生した。県民に衝撃と悲しみをもたらしたこの事故を契機として、市民総ぐるみで飲酒運転根絶活動に取り組む等、交通事故抑止に向けて交通ボランティア等と協働の街頭キャンペーンや広報啓発などを積極的に推進している。また、住宅地と工場地帯が近接し交通量頻繁な幹線道路が市内を貫く厳しい交通環境でありながら、交通事故死者数の減少傾向を定着化させ、令和5年2月の交通死亡事故ゼロ2年間達成を経て、令和5年11月には交通死亡事故ゼロ1000日を達成するなど、顕著な成果を上げている。
群馬県	チヨダマチ 千代田町	関係機関・団体・地元警察と連携して、四季の交通安全運動や交通安全教室を中心として、幅広い交通安全対策を行っている。また、運転免許証返納者に対する支援や自転車用ヘルメット購入補助等の各種支援事業を行う等、各種交通安全対策に積極的に取り組んでおり、他の市町村の模範となっている。地域の実情に即した活動を継続して取り組んだ結果、交通死亡事故を5年以上抑止するなど、目に見える効果を上げている。
兵庫県	イタミン 伊丹市	地元警察や自治体及び関係機関・団体と連携しながら市民が交通安全に関心をもてるよう、対象者に応じた交通安全教室の開催や街頭啓発活動など、市内の関係機関が一丸となり独自の交通安全活動を続けてきた。このうち、課題であった自転車事故について街頭啓発活動等を強力に推進したところ、自転車対車両の事故が令和元年と令和5年を比較すると59.0%減少する程の成果を見せている。その結果、事故件数、負傷者数が年々減少しており、令和元年と令和5年を比較すると事故件数は56.3%減少、負傷者数は59.2%減少となった。
奈良県	テンカワムラ 天川村	同村交通対策協議会を主体として地元警察署や奈良県交通安全協会の交通機関・団体・学校と緊密に連携し、春・秋の交通安全運動等の広報啓発活動はもちろん、街頭指導や自治体放送を活用した交通安全啓発活動のほか交通安全施設の点検及び改善等に積極的に取り組んでいる。また、ゴールデンウィークから秋頃までは車で来村される県内外の観光客が多く、交通量も非常に多い中で、交通事故抑止に顕著な功績を挙げ、令和5年度は、村内事故件数ゼロと10年間交通事故死者数ゼロを達成した。